

寺島実郎
Jitsuro Terashima

世界認識の 再構築

一七世紀オランダからの全体知

歴史の鏡を磨き、近代の本質を捉え直す

中世から近代に至る歴史潮流において「黄金時代」を築いた一七世紀オランダ。ライン川河口の低湿地帯に位置する小国は、いかにしてプロテスタントの連邦共和国として資本主義、民主主義、科学技術という近代の支柱が胎動する舞台となったのか。そして、オランダを「世界への窓」として向き合った江戸期日本を近代史の中に捉え直す、立体世界史の試み。

2025年9月5日発売
四六上製 384頁
定価＝本体2,700円＋税
ISBN978-4-00-025680-3 C0036

〒101-8002 千代田区一ツ橋 2-5-5
TEL. 03-5210-4000 (代表)
website <https://www.iwanami.co.jp/>

岩波書店

岩波書店 ＊ 2025 年 9 月新刊のご案内

2025. 7



■目次

はじめに 「近代とは何か」という問いかけ

I 近代の基点としての一七世紀オランダ ——その世界へのインパクト

1 ピョートル大帝のオランダでの船大工体験／2 日蘭関係の原点、リーフデ号の漂着とは何か／3 アメリカに埋め込まれたオランダのDNA／4 なぜオランダは近代の揺籃器となったのか／5 ドン・キホーテの時代だったスペイン／6 ポルトガルが先行した大航海時代と天正遣欧使節／7 日本の大航海時代 1 御朱印船貿易から鎖国へ／8 日本の大航海時代 2 鎖国とは中国からの自立でもあった／9 台湾をオランダが支配していた時代／10 宗教改革が突き動かしたものの／11 東インド会社という装置／12 フェルメールが生きた時代／13 レンブラントとユダヤ／14 近代への嚆矢としてのデカルトとスピノザ

II 江戸期日本と世界 ——西欧との出会いと中国からの自立過程

1 モンタヌスとケンペルの『日本誌』／2 石見銀山と銀の地政学／3 キリスト教の伝来と禁制／4 それからのキリシタン／5 オランダ商館長の江戸参府のインパクト／6 「オランダ風説書」と江戸期日本の世界認識／7 朝鮮通信使にみる江戸期の日・朝鮮関係／8 「国交なき交易」としての江戸期の日中関係／9 多摩の地域史が世界史に繋がる瞬間／10 東洲斎写楽はオランダ人か？——浮世絵再考／11 新井白石と荻生徂徠——時代と正対した二人の儒学者／12 本居宣長とやまどころ／13 「蘭学」の再考察と杉田玄白なる存在／14 江戸期の琉球国と東アジア、そして沖縄の今／15 蘭学の発展とシーボルト事件の背景／16 世界を見た漂流民の衝撃——『韃靼漂流記』から『環海異聞』／17 アメリカとの出会いとその意味

III 欧州のパラダイム・シフト ——近代を考える視界の拡大

1 英蘭関係の複雑な位相 1 ピューリタン革命まで／2 英蘭関係の複雑な位相 2 王政復古から名誉革命——英国史に埋め込まれた経験知／3 欧州における一七世紀フランス——ルイ十四世・絶対王政がもたらしたもの／4 ドイツ史の深層とオランダとの交錯／5 プロイセン主導の統合ドイツに幻惑された明治日本／6 一七世紀世界の相関を映し出す「青い眼のサムライ」——三浦按針という存在／7 科学革命における「コスモスの崩壊」とは何か／8 科学革命の影としての魔女狩り／9 人間機械論の変遷——デカルトからAIまで

IV 中東・アジアへの視界 ——イスラムの世界化と帝国の興隆

1 イスラムの世界化とアジア、そして日本／2 オスマン帝国という視角からの世界史／3 オスマン帝国の後門の狼サファヴィー朝ペルシャ／4 鄭和の大航海と東アジアの近世／5 インド史の深層／6 東南アジアの基層と西欧の進出——バタビア経由のオランダを見つめた江戸期日本／7 モンゴルという衝撃——十字軍と蒙古襲来／8 ロシア史における「タタールの軛」とプーチンに至る影／9 大中華圏とモンゴル、その世界史へのインパクト

おわりに 「近代の超克」への新たな視界

寺島実郎（てらしま・じつろう）

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了後、三井物産入社。米国三井物産ワシントン事務所所長、三井物産常務執行役員、三井物産戦略研究所会長等を経て、現在は（一財）日本総合研究所会長、多摩大学学長、（一社）寺島文庫代表理事。国土交通省・国土審議会計画部会委員、経済産業省・資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員等を歴任。

著書に『脳力のレッスンⅠ～Ⅴ』『日本再生の基軸』『シルバー・デモクラシー』『人間と宗教あるいは日本人の心の基軸』『21世紀未来圏 日本再生の構想』（岩波書店）、『ダビデの星を見つめて 体験的ユダヤ・ネットワーク論』（NHK出版）、『中東・エネルギー・地政学』（東洋経済新報社）、『世界を知る力』（PHP新書）他多数。